



エコ・そうか

■ 人と自然が共に生きるまち そうか ■

6月20日号

2015/平成27年

発行 草加市市民生活部環境課
〒340-8550
草加市高砂1-1-1
☎ 048-922-0151(代表)
環境推進係 922-1519
公害対策係 922-1520
FAX 048-922-1030

水辺環境の改善をめざして

「あつたぞ。そーれ」川辺に掛け声が響き渡ります。次第にヘドロと水草で汚れた自転車が掛け声に合わせて、川底から引き上げられてきました。

これは昨年10月、綾瀬川と伝右川で実施した綾瀬川クリーンプロジェクトでの一コマです。綾瀬川の水質は、公共下水道の整備や水質規制の強化などから改善していますが、ごみの投棄はなくなりません。今回は、水辺環境の改善についての取組をご紹介します。

サルベージ活動の取り組み

平成13年、草加市内で河川に不法投棄された自転車等の引き上げ（サルベージ）が始まりました。当初はボランティアによる河川の浄化活動に加え、活動の様子を見た人が考えを改めたり、街を愛する人が増えてほしいという願いから始まったものです。

これに獨協大学のサークルなどさまざまな市民団体の参加により、今では全市政的な取組として実施しています。

開始当初は、20台を超える自転車やバイクのほか、鉄パイプやエアコンなどの粗大ごみも回収していました。近年は粗大ごみは減りつつありますが、数年ぶり



に同じ場所でサルベージを実施すると、かなりの数の自転車が引き上げられています。

昨年10月19日、サルベージが始まると、ご近所や通りすがりの人が足を止めて様子をみています。関心はあっても、なかなか個人で川底の自転車は引き上げられず、気になっている人が多いことがわかります。

初めは遠目に見ていた参加者も、実際にロープを引っ張り始めると、最後には率先して引き上げ作業をしていました。この日、引き上げられた自転車やバイクは総計14台。参加者はきれいになった川をみて満足げです。後日、警察からの報告によると、多くが盗まれて川へ投棄された自転車だったことが判明しています。

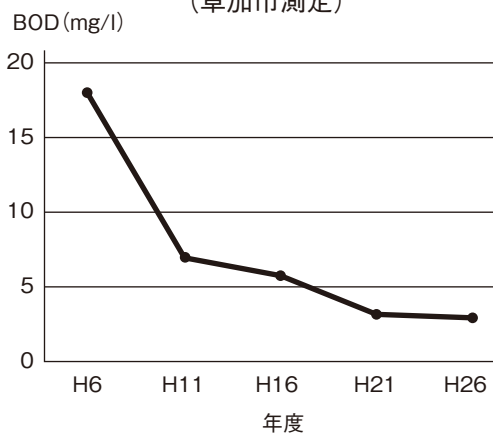


綾瀬川の水質状況

綾瀬川は、主に農業用水を集めて流れていました。昭和30年代に入ると、流域の急速な都市化や産業の進展により、生活排水や工場排水が流入したことから汚濁が進みました。近年は、公共下水道の整備により生活排水等の流入が減るとともに、工場排水の水質規制と浄化用水の導入等により、綾瀬川の水質は環境基準を満たすまでに改善されています。

手代橋BOD年平均値の推移

(草加市測定)



本年度予定する河川清掃

本年度市が共催予定の河川清掃は2回。天候等により、日程が変更されることがあります。詳しくはお問合せください。

●草加市夏のボランティアスクール 一川で自転車さらっちゃおう!大作戦●

平成27年8月27日(木) 辰井川
(草加南高校～辰井川排水機場付近)

●綾瀬川クリーンプロジェクト (綾瀬川クリーン大作戦)

平成27年9月26日(土) 古綾瀬川付近

綾瀬川には水質汚濁ワースト記録という負のイメージのほか、透明度や川底の暗灰色をしたヘドロなどにより、「汚れている」という評価が定着しているのが実情です。今後市では流域自治体や流域の住民の皆さんとサルベージ活動などを通じて協力し、綾瀬川の水質改善に取り組んでいきます。

草加市のシンボルでもある綾瀬川。自転車などのごみのない、さらに美しい水辺環境の復活をめざしましょう！

※獨協大学環境・国際団体Deco※

私たち環境・国際団体Decoは、持続可能な社会をめざし、「Think globally, Act locally」をモットーに、学生ならではの視点から環境・国際問題に取り組んでいます。まずは、自分たちでできることを考えながら、日々活動しています。

Decoの活動の1つであるサルベージは、川をきれいにするだけでなく、一般の方々の参加をはじめ、より多くの人々に川への関心や愛着を持ってもらうことを目的としています。



塚原さん・濱田さん

主な内容

- | | |
|-----------------------|-----|
| ●水辺環境の改善をめざして | 1 |
| ●平成26年度草加市環境基本計画の取組状況 | 2、3 |
| ●太陽光発電等補助金について | 4 |
| ●放射線対策の現状 | 4 |
| ●路上喫煙・野外焼却の禁止 | 4 |
| ●雑紙(ざつがみ)は大切な資源です | 4 |
| ●みんなで食品ロス削減に取り組もう | 4 |

実績と報告

市は「人と自然が共に生きるまち そうか」をめざして、平成11年に「環境共生都市宣言」をしました。この宣言の実現に向けての基本的な考え方を示す「草加市環境基本条例」を制定し、この宣言と条例を実現するための「草加市環境基本計画」を策定しています。
この草加市環境基本計画における平成26年度の取組状況をお知らせします。

水環境の改善

水質汚濁について汚濁発生源をみると、以前は事業系排水が主でしたが、近年では事業系排水よりも生活系排水の負荷割合が大きくなっています。生活排水の処理割合は、下水道処理87.6％と、合併浄化槽処理4.7％を含めて92.3％であり、7.7％は無処理で河川に排出されています（平成25年度データ）。今後とも水質の改善を図るには、生活排水対策を推進するなど、さらに努力する必要があります。

みんなで水質調査

綾瀬川の水質と現状について理解を深め、川に対する親近感を高めることを目的として実施しています。平成26年度は、10人が参加しました。

エコ・クッキング教室

素材を使い切り、できるだけごみや汚れた水を出さず、省エネルギーに配慮した料理方法の普及を図るため開催しています。平成26年度は、14人が参加しました。

綾瀬川再生21事業

綾瀬川への関心を深め、市民共有の財産として愛着、思い入れを持ってもらうため、綾瀬川及び左岸広場で、ふささら祭りと同時に開催し568人が参加しました。



身近な自然の保全と創造

市内に残る樹林や田んぼ、河川、水路などの自然環境は、生物が生息する空間であるとともに、市民の皆さんが身近に自然とふれあえる場です。この樹林や農地、河川等を活用し、保全・創出を図りながら、自然と共生するまちづくりを推進しています。



学校ビオトープを整備

生物の生息空間（ビオトープ）を守り、復元・創出し、それぞれをネットワーク化させることは、地域に豊かな自然を取り戻す有効な手法です。環境学習の場と生きものの生息空間を提供するため、学校にビオトープを整備しています。平成26年度は、川柳小学校「野鳥の森」をビオトープとして整備しました。

環境への負荷の少ない循環型社会の構築

大量消費、大量廃棄という社会システムから、限りある資源の消費を抑制し、環境への負荷をできるだけ減らすため、循環型社会への転換を進めています。リデュース(ごみを減らす)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(資源として再利用する)という3Rの実践により、展開しています。

地球環境の保全

近年の異常気象は地球温暖化によるものといわれています。その解決と軽減に向け、低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進しています。

環境にやさしい市役所庁内率先実行計画

平成12年度に市は草加市環境にやさしい庁内率先実行計画を定め、環境に配慮した事務の推進を行っています。これにより、平成22年度を基準として、二酸化炭素換算の排出量20,839トン（－4.0％）を目標に取り組んだ結果、平成26年度は基準年度より4,165トン（－19.2％）を削減することができました。

屋根貸し太陽光発電事業

平成27年3月、谷塚小学校・谷塚文化センターと松原小学校の屋上に、それぞれ50KWの太陽光発電設備が設置され、発電が始まりました。市内の公共施設に設置された太陽光発電設備としては、最大級のもの。太陽光発電事業者として公募により選定した堀川産業(株)が設置したものです。事業期間は20年間。事業の開始に伴い、発電量の表示板を設置して環境学習に活用できるようにするとともに、大規模災害などの停電時には、非常用電源として利用できるコンセントも設置しています。



谷塚小学校・谷塚文化センター 堀川産業(株)提供

環境学習の推進

子ども自然観察教室

草加市内を流れる毛長川と日高市の高麗川^{こまがわ}で、水の汚れや生物の生息状況を調べ、比較しました。4日間で延べ25人が参加しました。



野鳥観察会

柿木公民館とその周辺で野鳥を観察しました。19人が参加し、18種類の野鳥を観察しました。



市民講師や市職員による出前講座

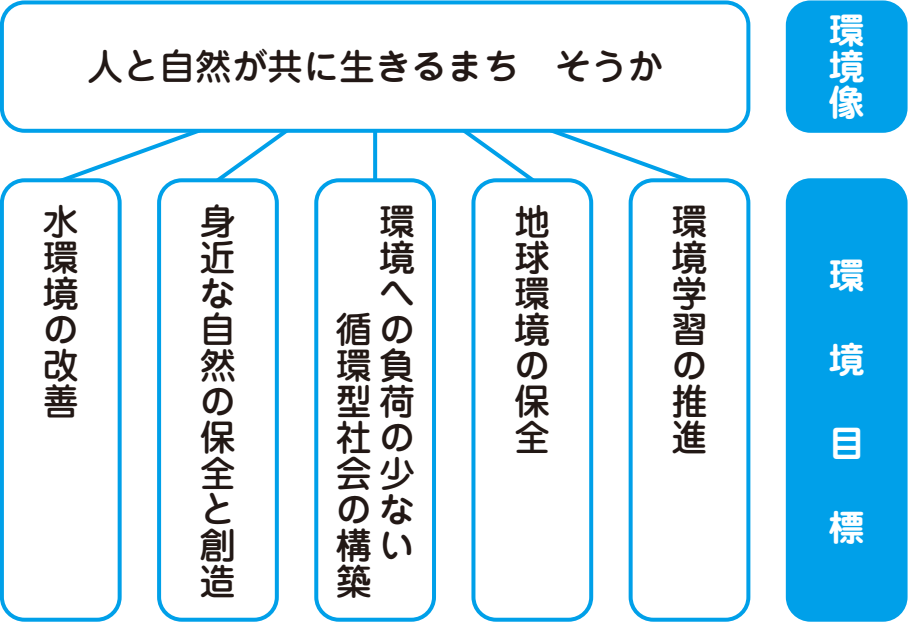
地域の自然観察や環境工作等講座を21回実施し1,721人の児童・生徒が受講しました。



平成26年度

草加市環境基本計画の取組状況

平成12年3月に策定した「環境基本計画」に基づき、草加市は、環境問題の解決に向け様々な取組を実施しています。環境問題は、身近な自然の喪失から地球規模の問題に至るまで多岐にわたっています。今日の環境問題が差し迫ったものであるとの認識を持ち、取組を着実に進めていくことで、「人と自然が共に生きるまち そうか」の実現をめざしています。



☆草加市環境基本計画の概要

目的

市民、事業者、行政にとって、共通の目標となる環境の将来像「人と自然が共に生きるまち そうか」の実現をめざし計画を策定しました。

取組主体

今日の環境問題を解決し、私たち、そして、次世代にとって快適な生活が送れる「環境にやさしいまち」をつくるために、市民、事業者、行政の三者で協働して取り組みます。

取組期間

計画の目標期間は、草加市の他の計画（「草加市総合振興計画」や「草加市都市計画マスタープラン」等と整合性を図り、平成27年度までとしています。社会・経済情勢の変化等に対応するため5年ごとに見直しを行い、平成22年3月に改定しています。

草加市環境基本計画達成目標に対する実績

目標値達成

環境目標	環境指標	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値 (平成27年度)
水環境の改善	河川の水質(BOD75%値)							
	綾瀬川(中曽根橋)	mg/ℓ	4.5	4.4	4.4	4.1	3.6	3.5mg/ℓ
	〃(手代橋)	mg/ℓ	4.6	4.7	4.5	4.5	3.5	3.5mg/ℓ
	古綾瀬川(綾瀬川合流点前)	mg/ℓ	4.5	7.2	7.9	7.3	4.4	5.0mg/ℓ
	伝右川(伝右橋)	mg/ℓ	3.4	3.6	3.6	4.4	2.9	3.5mg/ℓ
	毛長川(鷺宮橋)	mg/ℓ	3.2	3.8	3.7	4.4	2.5	3.5mg/ℓ
	辰井川(上町境橋)	mg/ℓ	5.6	4.1	5.7	4.6	3.6	5.0mg/ℓ
	公共下水道普及率	%	90.7	90.8	91.3	91.6	91.9	94.5%
	多自然型護岸の河川延長(葛西用水等)	km	5.72	6.11	6.11	6.60	6.80	7.0km
身近な自然の保全と創造	確認された魚等の種類÷目標種類(15種類)	%(種類)	80(12)	80(12)	80(12)	86.7(13)	86.7(13)	86.7%(13種類)
	ビオトープの整備面積及び箇所数	m ² 箇所	62,900 16	62,928 17	62,928 17	67,929 18	68,645 19	67,900m ² (累計) 21箇所
	市の面積に対する緑地の割合	%	9.6	9.7	9.7	9.7	9.6	11.6%
	市民1人当たりの都市公園面積	m ² /人	1.77	1.77	1.77	1.84	1.93	3.7m ² /人
環境への負荷の少ない循環型社会の構築	市民1人1日当たりの可燃ごみの排出量	g/人・日	543	544	540	531	523	550g/人・日
	資源化率(ビン・カン・古紙類等)	%	20.4	20.5	19.9	20.1	20.0	20.8%
	市におけるグリーン購入の実績	%	99.7	99.9	98.0	99.7	99.4	100%
	太陽光発電システムの年間発電量	kWh/年	2,922,669	4,331,233	5,945,071	9,000,189	10,307,530	4,000,000kWh/年 (累計)
	環境調査の環境基準達成割合(大気、水質、ダイオキシン類等)	%	86.1	88.9	92.1	87.5	90.0	94.4%
地球環境の保全	市の施設から排出される温室効果ガスの量(二酸化炭素換算量)(平成20年度比)	トン (%)	21,707 (11.5増)	18,184 (6.6減)	18,451 (5.2減)	17,255 (11.4減)	17,542 (9.9減)	18,000トン (20年度比7%減)
	保有車のエコカーの割合(市役所)	%	21.0	20.0	19.0	20.3	19.4	50% (特殊用途車を除く)
	エコライフに取り組んだ市民の数及び二酸化炭素削減量	人(対人口%) kg	40,433(16.6) 28,472	51,772(21.2) 37,338	58,861(24.1) 41,912	64,125(26.2) 49,536	71,655(29.2) 62,511	36,000人(対人口比15%) 30,000kg
	ISO14001等取得による環境活動取組事業所数	事業所	49	49	51	51	51	70事業所
	地球環境に関するフォーラム等の参加者数	人	6,845	7,237	7,712	8,443	9,263	8,000人(累計)
環境学習の推進	環境学習に係る講座等の開催数	回	124	163	199	241	286	350回(累計)
	環境学習参加者数	人	11,606	14,263	16,629	19,669	23,217	38,000人(累計)

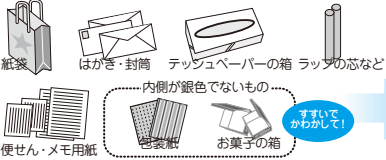
雑紙は大切な資源です

可燃ごみは、約20パーセントが紙類です。その多くはリサイクル可能にもかかわらず、燃やされています。雑誌、新聞紙、段ボール、紙パックだけでなく、ハガキやティッシュペーパーの箱、トイレトペーパーの芯などの雑紙(ざつがみ)も分ければ資源となります。分別回収にご協力をお願いします。

月2回の資源物収集日に出しましょう!

分ければ資源・やってみよう みんなでリサイクル!

様々な包装紙や紙袋、商品パッケージ、ラップの芯などでできている物のほとんどが雑紙としてリサイクルできます。



加工されている紙は

可燃ごみへ

出して下さい

例えば…

ビニール加工紙(ガム)

防水紙コップ

レシート

圧着はがき

写真など

雑紙は、紙袋などに入れてこぼれないようにひもでしばってください。

みんなで食品ロス削減に取組もう!

まだ食べることができるのに捨てられてしまう食品を「食品ロス」といいます。食品ロスは1人1日当たり250g、おにぎりにすると約2個分の重さに相当します。



買い物で

- ・買い物前に冷蔵庫の中身をチェックしましょう。
- ・必要なものを必要な分だけ買い、買いすぎに注意しましょう。

料理で

- ・調理方法を工夫し食材を使い切りましょう。
- ・消費期限と賞味期限の違いを正しく理解しましょう。消費期限は過ぎたら食べないほうがよい期限ですが、賞味期限はおいしく食べられる期限です。

片付けて

- ・余った料理や食材は、1回の使用分ごとに小分けにして保存し、早めに食べるようにしましょう。
- ・冷蔵庫にある食材の消費期限、賞味期限をこまめにチェックし、定期的に冷蔵庫の中を整理しましょう。
- ・生ごみはよく水切りしてから捨てましょう

■問合せ:廃棄物資源課 ☎048-931-3972 FAX048-931-9993

県の浄化槽転用雨水貯留施設設置費の補助金

綾瀬川・中川の水質改善対策として、新たに公共下水道に接続する際に不要となる単独浄化槽を転用し、雨水貯留施設に改造する場合、市の補助を受けていることを条件に、県の補助制度(限度額10万円)を併せて受けることができます。

■問合せ 埼玉県環境部水環境課
☎048-830-3081 FAX 048-830-4773

路上喫煙はやめましょう

草加市では「草加市路上喫煙の防止に関する条例」で、市内全域の路上等において、喫煙をしないよう努めることが規定されています。

また、市内4駅周辺に路上喫煙禁止区域が定められています。この区域内で路上喫煙し、指導に従わない場合には、1,000円の過料が科せられます。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

■問合せ:くらし安全課
☎048-922-3642 FAX 048-922-3041



太陽光発電で地球と家庭を元気にしよう!

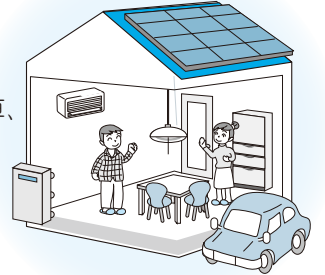
自然エネルギー等を有効に利用し、環境への負荷の少ない生活様式を築くための経費の一部を、地球温暖化防止活動補助金として交付します。

- ①太陽熱を利用した給湯器の購入(1万円)
- ②地中熱を利用した給湯器の購入(1万円)
- ③家庭用コージェネレーションシステムの購入(1万円)
- ④燃料電池給湯器の購入(1万円)
- ⑤HEMSの購入(1万円)
- ⑥家庭用蓄電池の購入(1万円)
- ⑦次世代自動車(電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリット自動車)の購入(1万円)
- ⑧雨水貯留施設設置(経費の2分の1、限度額1万円)
- ⑨太陽光発電システムの設置(1kW当たり1万円※限度額7万円)

すべて重複申請可能。購入・設置をする前に環境課へ申請を。
※店舗や事業等で使用するものは対象外。

詳しくはHPをご覧ください!

■問合せ 環境課 ☎048-922-1519 FAX 048-922-1030
HP <http://www.city.soka.saitama.jp/>



野外焼却は禁止です

野外焼却を行うと、人体に悪影響を与えるといわれているダイオキシン類を発生させてしまうだけでなく、煙や臭いで気分が悪くなったり、灰で車が汚れたり、布団や洗濯物に臭いや汚れがつくなど、近隣に多大な迷惑をかけてしまいます。

○野外焼却は『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』、『埼玉県生活環境保全条例』で禁止されています。

※廃棄物を焼却するときは、法定の焼却施設を使用してください。(事業者の場合は届け出が必要です。)

○廃棄物は、許可を有する処理業者に委託して処分してください。

市役所には野外焼却に対する臭いや煙の苦情が多く寄せられています。草加市の環境を良くするためには、市民の皆さん一人ひとりの取組が大切です。ご理解、ご協力をお願いします。



放射線対策の現状

市では小・中学校、保育園、公園等の子どもたちが日常的に活動する公共施設の空間放射線量の測定や、小・中学校、保育園等の給食の放射性物質検査等を行っています。

空間放射線量は徐々に低下する傾向が見られており、給食の放射性物質検査では、平成27年5月末現在、約8,000検体を検査し、検出下限値※を超える給食はありませんでした。

今後も継続して対応を行ってまいります。

※検出下限値は放射性ヨウ素、放射性セシウム134、137いずれも1キログラム当たり10ベクレル

給食の放射性物質検査測定器:シンチレーション微量放射能測定装置

■問合せ:環境課 ☎048-922-1520 FAX 048-922-1030